

宇宙技術等の活用に係る課題調査

事業期間（平成31年～）

平成31年度概算要求額 15百万円（平成30年度予算額 0百万円）

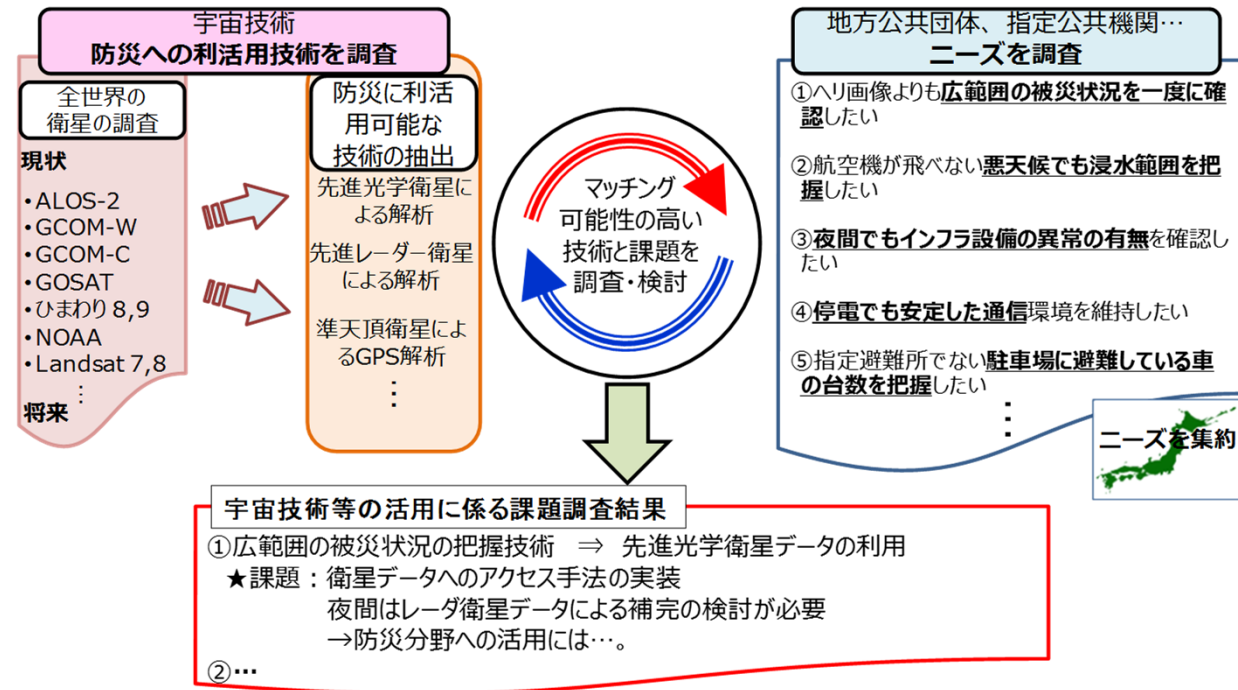
内閣府（防災担当）
03-3501-6996

事業概要・目的

- 大規模広域災害に不可欠な関係者間の連携による災害対応には、災害対応業務の標準化が必要であり、特に、関係者それぞれが体系的に状況把握するためのICTを活用した情報共有の仕組みが必要なため、中央防災会議防災対策実行会議の下に、「災害対策標準化推進WG」及び「災害情報ハブ推進チーム」を設置し、標準化推進に資する調査や、関係機関間における円滑な情報共有の推進について検討しています。
- より迅速かつ体系的な状況把握の実現には、新たな情報収集手法としての急速に発展する宇宙技術等の防災分野への活用可能性等を検討することが必要です。

事業イメージ・具体例

- 防災分野に活用可能な技術等を調査し、災害対応者のニーズも踏まえつつ、活用可能性や活用にあたっての課題等について調査・検討します。



資金の流れ



期待される効果

- 災害対応現場において、利活用可能な衛星データを「災害情報ハブ」の枠組みにおいて広く流通させることによる、災害対応の効率化及び迅速化を実現します。